

協会から市民の皆様へ

雪対策事業は、冬の市民生活を守るためになくてはならないものです。しかし、雪対策を取り巻く社会環境は大きく変化しており、様々な課題を抱えています。それを克服し、乗り越えていくためには、市民の皆さまのご理解とご協力を頂かなくてはなりません。

除雪で困っていること

◆除雪作業の効率が落ち作業が遅れます

- ・車を車庫や敷地内に入れず路上に駐車されると、車を傷つけないように避けて除雪を行わなければならない、走行スピードが落ち作業の遅れにつながります。また、蛇行することにより雪山が左右不均等の原因にもなります。
- ・駐車場や屋根から道路へ雪出しをされますと、路面がザクザクやデコボコになることや、除雪により広げた道路幅が狭くなります。



【作業の支障となる迷惑駐車】

◆かき分けた雪の置き場が減っています

- ・新雪除雪は、雪を左右にかき分けるため、玄関や車庫前に寄せられた雪の処理は、各ご家庭のご協力をお願いします。
- ・かき分けた雪を置くような空き地も減っており、ロードヒーティングや民間排雪により雪処理した場所にも雪を置いていきます。



【玄関前の雪かき】

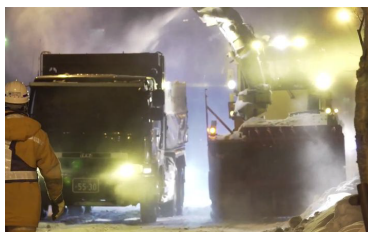
排雪で困っていること

◆排雪作業の効果がすぐになくなります

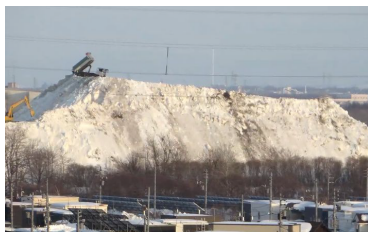
- ・排雪した場所に雪出しをされると、せっかく広がった道幅が狭くなります。
- ・交差点排雪を行った箇所に雪出しをされると、せっかく見通しが良くなっても、すぐに見通しが悪くなります。

◆雪堆積場が遠くなっており作業効率が落ちています

- ・雪堆積場には、札幌市（行政）が確保しているものと、業者（民間）が確保しているものがあります。どちらも郊外にありますが、排雪ダンプトラックが1月から3月上旬まで頻繁に走ることもあり迷惑施設として扱われ、また、住宅地も郊外に広がっていることもあり、確保が難しい状況です。



【ダンプトラックへの積込作業】



【雪堆積場】

札幌市除雪事業協会だより

発行／札幌市除雪事業協会 〒060-0001 札幌市中央区北1条西2丁目2番地 北海道経済センター5階（札幌中小建設業協会内）Tel.251-3166 FAX251-7740



持続可能な雪対策の 確立に向けて

札幌市
市長 秋 元 克 広

札幌市除雪事業協会の会員の皆様におかれましては、日頃より札幌市の雪対策事業に多大なるご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。また、多様化する市民ニーズや社会情勢の変化に対応した除排雪体制を構築し、厳しい気象条件のもと、大変過酷な業務を担っていただいておりますことに、心より感謝申し上げます。

昨年は累計降雪量が331cmと記録的な少雪であったほか、今年5月には気象庁発表の30年平年値が10年ぶりに更新され、年間降雪量の値が597cmから479cmに減少するなど、近年の少雪傾向を実感する年となりました。そのような中、2月16日の暴風雪警報発令時には、降雨により全市的に路面状況が悪化し、地域の交通に支障が生じるなど、対応の難しい場面も発生しておりましたが、皆様の迅速かつ適切な除排雪作業のおかげをもちまして、冬期における物流や安全な市民生活が確保されたものと考えております。

さて、札幌市では、社会環境の変化や雪対策が抱える課題に対応するために策定した、雪対策の基本計画「札幌市冬のみちづくりプラン2018」、および実行計画「札幌市冬みちプラン2018・実行プログラム」に沿った取組を推進しております。

これらの計画は、これまでの作業方法の見直しやICTの活用などにより、作業の効率化や省力化、労働環境の改善につながる取組を進め、将来にわたり安定的な除排雪体制の維持を目指すものであります。

これらは、試行や実証実験などの取組も多く、検討期間においては、皆様にご面倒をおかけすることもあるかと思いますが、将来を見据え、持続可能な雪対策を進めていくためには、市民・事業者・札幌市で連携を図りながら社会環境の変化に柔軟に対応していく必要があると考えておりますので、今後ともより一層のご協力をお願いいたします。

最後になりますが、雪対策事業に対する皆様のご尽力に深く敬意を表するとともに、これからの札幌市除雪事業協会の益々のご発展と皆様のご健勝、ご活躍を心からご祈念申し上げます。ご挨拶いたします。



社会環境の変化に対応した 除雪体制を行政と連携し築く

札幌市除雪事業協会
会長 宮 浦 征 宏

今年もまもなく冬を迎えます。それに向けて除雪の準備作業、初冬期の凍結路面对応、そして本格的な除排雪作業が行われる季節となりました。札幌市除雪事業協会では、除雪シーズンを迎えるにあたり、除雪事業における作業を安全にやり遂げる決意を表明いたします。また、除排雪作業について、関係各位並びに市民の皆様にご協力をお願いし、皆様とともに安全・安心な冬の道路環境を確保していく決意であります。

さて、昨シーズンを振り返りますと、新型コロナウイルス感染症対策に振り回されたシーズンでありました。除雪機械は、狭い空間に2名で乗車することから3密は避けられず、また、除雪センターも在宅勤務などはできない職場であります。このような職場環境ですが万が一、除雪従事者が感染し、除雪業務に支障をきたすようなことがあれば、市民生活への影響に直結することから、札幌市と連携し、様々なケースを想定した除雪体制の検討を行うとともに、除雪従事者一人ひとりが感染予防対策の徹底を図るよう努めました。

来年は協会の設立から30年を迎えます。これまで約30年にも及ぶ期間の中には、交通機関がマヒするような大雪や、マルチ間の応援が必要となった局地的な大雪等があった一方で、近年は除雪体制の維持に不安を覚えるような少雪など、様々な困難に直面してきました。しかし、関係各位のご指導とご協力、そして協会会員企業の努力等により、その困難を乗り越えてきました。協会としては、今後より一層会員企業間の連携を高め札幌市のご指導の下、社会環境の変化に対応した労働環境の改善、オペレーターの育成、除排雪作業の効率化や省力化などに努め、地域の状況を踏まえた安全な除排雪作業を行ってまいります。これから本格的な除雪シーズンに入りますが、市民・行政・企業の三者の連帯をより一層強め、それぞれが担う雪対策の役割を再度確認してまいりたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

結びとなりますが、無事故・ゼロ災害を目指し、今冬の除排雪作業の安全、並びに関係各位のご健勝を祈念申し上げます。ご挨拶いたします。

2020～2021年 協会のできごと

■2020年

2020年は、世界的に猛威を振るう新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、定期的に開催していた理事会は、一堂に会しての審議をすることが出来ず、書面による審議とせざるを得ない状況でありました。

冬期に予定していたモエレ沼公園駐車場での若手オペレーターの育成と技術の伝承を目的とした除雪機械実技研修会も中止せざるを得ませんでした。

また、除排雪作業を効率的・効果的に実施するための携帯タブレット端末を活用した除雪機械稼働情報に関する実証調査を中止するなど、協会も大きな影響を受けた1年でした。

そのような過去に例のない状況下での冬のシーズンではありましたが、各マルチ共同企業体に従事する一人ひとりが新型コロナウイルス感染症の予防対策を徹底したこともあり、感染者はおりませんでした。

ただし、濃厚接触者となった者は数名確認されたものの、「感染者・濃厚接触者の発生後の事後対応計画」に基づき、除雪体制の変更等が必要か否かをマルチ共同企業体内で協議・調整した結果、代替要員を確保することができ、除排雪作業を行う体制に大きな影響を及ぼすことはありませんでした。また、除排雪作業等に伴う物損事故等は、一定数ありましたが、昨冬も死亡などの重大事故を起こすことなくシーズンを終えることができました。

■2021年

2021年4月以降もコロナ禍は収まらず、5月に予定していたマルチ除雪センター長との意見交換会を中止とし、6月に予定していた代表者懇談会や定期総会などは、書面での開催、規模を縮小しての開催となりました。

この内、代表者懇談会については、その代替として、令和2年度道路維持除雪業務の改善事項を今後に反映しようと、「除雪事業協会からの要望」及び「除雪センター長からの要望」を取りまとめ、6月に当協会3役と札幌市雪対策室の担当者と議論の場を設けました。

その中で、除雪に従事する人員や除雪機械を確保し、除雪体制を維持していくうえで不可欠な待機補償の見直しについては、繰り返し要望してきたことなどもあり、令和3年度から見直しが図られることになりました。

コロナが現在落ち着いている中、札幌市雪対策室でコロナ感染予防対策を講じたうえで、運転免許試験場のコースを活用した1名乗車グレーダの実技講習会や道新ホールでの除雪機械技術講習会と、今冬の除雪作業において必要な講習会等が開催され、多数の除雪作業従事者が参加しました。



【実技講習会】

(2)



【除雪機械技術講習会】

《2021 除雪安全推進大会スローガン》

「安全意識を高め、市民とともに無事故で快適な冬を目指して」

除排雪作業は、夏場の道路上での工事と違い、バリケードなど保安施設に囲まれての作業ではありません。除雪作業は主に夜間作業となりますが、人も車も行きかう中での作業となります。また、パートナーシップ排雪は、生活道路が主体の日中作業であり、市民が日常生活を送っている中での作業であります。どの作業も時間とともに作業場所が刻々と移動し、作業する除雪機械も移動するといった特殊な状況であります。

このような状況下での作業となることから、作業中の除雪機械やダンプトラックなどには近づかない、作業エリア内には入らないなど、市民の皆様にも安全意識をお持ちになって協力していただくことにより、安全に迅速な作業を行うことが可能になるものと考えております。



【複数の除雪機械による新雪除雪】

《安全宣言》 令和3年11月26日

札幌市の除雪業務に従事する私たち札幌市除雪事業協会の会員は、大会スローガンである「安全意識を高め、市民とともに無事故で快適な冬を目指して」を掲げ、冬季の市民生活が快適に過ごせるように使命感を持って職務に邁進いたします。

除雪業務の遂行においては、各種関係法令、札幌市除排雪マニュアルを遵守し、札幌市との充分な連携のもと安全対策に取り組み、歩行者や通行車両などの第三者被害の防止はもとより、交通・労働災害の発生ゼロを全力で目指します。

除雪シーズンの幕開けに当り、今冬も無事故・無災害で業務を完了するよう、札幌市除雪事業協会会員一同が一丸となり、最大限の努力をすることをここに誓い、宣言いたします。

〈ご報告〉

例年、市長や建設行政に係る市幹部職員、町内会役員等に参列していただき、北海道経済センターで開催しております「市民総ぐるみ除雪安全推進大会」につきましては、昨年は中止としましたが、今年は新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、大幅に規模を縮小し、除雪に従事する関係者の代表者のみで実施することといたしました。

(3)